

「いきいき福祉・健康フェア2010」出展報告



1. 主催：いきいき福祉・健康フェア2010実行委員会（事務局：日本工業新聞社）
2. 構成団体：北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道新聞社など10団体
3. 後援：北海道厚生局、札幌市教育委員会、北海道市長会など35団体
4. 開催日時：平成22年10月15日（金）～17日（日）
各日10：00～17：00（最終日は16：00まで）
5. 開催会場：アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3-55）
6. 来場者数：24,725人
7. 出展内容
 - 7.1 パネル展示
「カセットこんろ」「プラグ・コンセント」「二重構造鍋」「扇風機」「金属製湯たんぽ」
「密閉式石油ストーブ」など12枚
 - 7.2 事故品等展示
「密閉式石油ストーブ」「二重構造鍋」「プラグ・コンセント標本」「金属製湯たんぽ」
「テーブルタップ」「ハロゲンヒーター」「カセットこんろ」「扇風機」
 - 7.3 ビデオ放映
「事故情報に基づく再現実験映像Vol.2」
 - 7.4 配布物
「見守りHB2010」「ついついうっかり事故」「夏の事故」「社告・リコール電気ストーブ一覧」「長期使用製品」「製品安全パンフ」

8. 概要報告

7回目となる今年の”いきいき福祉・健康フェア”は、「ふれ愛、支え合い、助け合い。やさしさと安心な暮らし実現のために」をテーマに3日間開催され、多くの来場者で賑わいました。

NITEからは、4年連続の出展となりますが、事務局の計らいによりブースが入り口近くに設営されたこともあり、例年以上に多くの方が訪問されました。NITEブースを訪問されたほとんどの方は興味深げに事故品やパネルを見て、質問されるなど、製品安全に対する関心の高さが伺われました。また、配布物についても、多数用意した見守りハンドブックでしたが、早々と不足する事態になり、急遽取り寄せるほどでした（配布数200冊超）。

来訪者の表情を見ていると、事故品を見て驚いている方が多数おられ、事故の未然・再発防止の観点から、ますます、広報の必要性を認識させられました。



